

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：水産業費 目：水産業振興費

事業名 内水面振興施設整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

政部 里川振興課 水産振興室 水産係 電話番号：058-272-1111(内2913)

E-mail：c11428@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 115,437 千円 (前年度予算額： 445,009 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	445,009	0	0	0	0	0	20,300	361,000	63,709
要求額	115,437	0	0	0	0	0	0	96,300	19,137
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

①岐阜県魚苗センター

・本施設は昭和58年に設置されて以降、良質な放流用あゆ種苗を安定的に供給することで本県の内水面漁業の振興に大きく貢献してきた。

・建設後、12～45年が経過しており、修繕の必要が生じている。

・飼育池の損壊、機器類の故障等による施設機能の停止は、その年の事業に決定的な被害を与える危機であることから、機能停止を未然に防ぐため、計画的な修繕工事等の実施が課題となっている。

②清流長良川あゆパーク

・供用開始後の施設効果向上を図るため、利用者の意見等を踏まえながら継続的に補完工事を実施していくことが課題となっている。

(2) 事業内容

① 岐阜県魚苗センターの改修工事 107,818千円(県債96,300千円)

・美濃事業所：建屋、中央制御盤等システム等改修工事

井戸ポンプ改修実施設計業務

・関事業所：外壁補修等実施設計業務

② 清流長良川あゆパークの修繕等 7,619千円

・施設修繕や大型テントの設置

(3) 県負担・補助率の考え方

県所有の施設であることから、県の負担で実施する必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	516	業務旅費
需用費	4,337	工事材料等物価本等購入費、施設修繕費
役員費	55	事務郵送
委託料	12,508	実施設計委託、業務委託
工事請負費	97,990	岐阜県魚苗センター改修工事
使用料及び賃借料	31	会議室等の使用料
合計	115,437	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○ぎふ農業・農村基本計画（R3～R7）

第5章 政策の方向性

(3)ぎふ農畜水産物のブランド展開

⑥鮎を守り育てる体制構築

○岐阜県県有建物長寿命化計画

「岐阜県公共施設等総合管理基本方針」に基づく個別施設計画

(2) 後年度の財政負担

県有施設の改修（修繕を含む。）工事であることから、継続して計画的に実施する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

県有施設の改修（修繕を含む。）工事であることから、県が実施することが適当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

現存施設の維持管理で、現在の機能を維持することを目的とする事業であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取組内容と成果を記載してください。 ○関事業所飼育棟工事（建築、機械設備、電気設備）を実施 ○魚道の整備（1か所） ○あゆパーク大型テント設置、防火対策工事を実施
令和 3 年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	施設機能を維持するため、計画的に修繕工事等を実施するもので、必要性の高い事業である。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	施設の生産規模を大幅に減少させること無く改修工事を実施する必要があり、3ヶ年に渡って計画的に改修を実施

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項	

(次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
